

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		合志市障害者就労支援事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤 圭子
	施策	17	障がい者の自立と社会参加の促進			所属課	福祉課	担当者名	安武 恭一
	基本事業	52	社会参加の促進と就労支援体制の充実			所属班	障がい福祉班	(内線)	2125
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 3	事業連番 11533	法令根拠	成果優先度評価結果 : ③ コスト削減優先度評価結果 : ①	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	一人でも多くの障がい者の就労に繋がれるよう、事業所で行われている役務の商談会や事業所で製造等されている商品等の販売会を行っていく。 障がい者優先調達推進法に基づき、障害者福祉施設の製品等の購入を推進する。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	市民、企業等に広く周知を行い、商談会及び販売会を実施
【主な予算費目】	予算計上なし
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	こうし秋祭りにおいて、市内障がい者福祉施設製品の展示販売会を行った。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成27年度においても、市内障がい者福祉施設製品の展示販売会を行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア: 就労移行、継続(A型)支援サービス受給者数(H24変更)	イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	就労移行、継続(A型)支援サービス受給者数(H24変更)	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件
→ ア: 就労移行、継続(A型)支援サービス利用件数(H24変更)	イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	就労移行、継続(A型)支援サービス受給者の就労を支援する(H24変更)	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 人
→ ア: 一般就労できた障がい者数(H24変更)	イ:	
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
商談会や販売会等を行うことで、障がい者の就労の場を確保することにより、障がい者が社会活動または地域活動が図れるようにする。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	人	人	82	91	95	96	100	105	110	110
②対象指標	件	件	683	790	800	934	810	820	830	840
③成果指標	人	人	6	6	5	6	5	5	5	5
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
	(A)事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	4	6	3	4	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	時間	550	500	502	360	502	0	0	0
(B)人件費計	千円	千円	2,239	1,992	1,999	1,434	1,999	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	千円	2,239	1,992	1,999	1,434	1,999	0	0	0

事務事業名	合志市障害者就労支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 一人でも多くの障がい者の就労に繋がられるよう、事業所で行われている役務の商談会や事業所で製造等されている商品等の販売会を行っていく。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成26年度においても、市内障がい者福祉施設製品の展示販売会を行う。今後も毎年2回は計画的に実施するよう努める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 マニフェスト関連の単独事業であるため、類似事業なし。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人件費以外において、事業としての予算計上がないため。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人数で行っているため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 一人でも多くの障がい者の就労に繋がられるよう、事業所で行われている役務の商談会や事業所で製造等されている商品等の販売会を行っているため、結果として対象となるサービス受給者の全てに該当していると思われる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 商談会や販売会等を行うことで、障がい者の就労の場を確保することにより、障がい者が社会活動または地域活動が図れるようにするという目的のため、市のイベントへの案内や販売スペースの提供などは行政の役割として適正と思われる。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

対象となるサービス受給者が地域で自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援を行なった。
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						